

# ポッドキャストを英語学習に利用する上での 予備調査とその考察

— 購読型教材配信によるモバイル英語学習システムの構築に向けて —

榎 田 一 路

広島大学外国語教育研究センター

## 1. はじめに

近年、メディアの再生環境の劇的な変化と、コンピュータの高性能化、およびインターネットの普及を背景として、デジタルオーディオプレーヤー（以下「DAP」）を利用した音声配信システム「ポッドキャスト」が注目されている。小論は、このポッドキャストを英語学習に利用する可能性を探るため、広島県内の大学生約300名を対象に実施した予備調査の結果を報告するものである。

本調査の内容はポッドキャスト購読のためのいわばインフラ面と、購読を希望するコンテンツ面での調査に大別されるが、小論では前者に焦点を当て、DAPおよびポッドキャストの普及率や認知度等を考えつつ、現状に即した利用のあり方を考察したい。後者については、Lauer (2008) が同じ予備調査の結果に基づき、ポッドキャスト教材として望ましい内容を具体的に検討しているので、そちらを参照されたい。

小論ではまず、デジタル再生環境までに至る英語学習とメディアの変遷について概観し、今回行った調査の説明とその結果報告、さらにその結果を踏まえ、ポッドキャストを英語学習に利用する上での留意点について考察していく。

## 2. 英語学習とメディアの変遷

### 2.1 英語学習とメディアの変遷

音声の記録・再生メディアとしては、長くコンパクトカセット（以下「カセットテープ」）が主流であった。CALL教室が一般化する前、語学学習に特化した教室といえばカセットテープを用いたLL教室であった。学習者はカセットテープを教室に持参し、モデル音声を録音して反復練習をしたり、LLのドリル録音機能を用いてモデル音声と自分の音声を比較することが可能となった。また音声メディアを自宅に持ち帰り音声ベースの宿題や復習を行い得た。このモデルが実現した背景に、家庭におけるカセットテープ録音・再生環境の高い普及率があったことは言うまでもない。

1992年、ソニーがミニディスク（MD）を発売開始し、若年層を中心に急速に普及した結果、1990年代後半、音声記録メディアの主力はカセットテープからMDに移行した。MDはATRAC符号化形式による非可逆圧縮フォーマットで音声を光学ディスク媒体にデジタル記録するもので、(1) デジタルフォーマットのため、記録メディアの再生に起因する音質劣化がない、(2) CDからのコピーが簡単、(3) ランダムアクセスによるCDと同様の検索性のよさ、(4) 結合・分割・消去・移動といった音声トラックの編集機能が充実、(5) 文字情報の入力が可能、などを特徴としていた。ただ、その普及率はカセットテープには及ばなかったため、LL環境において記録メディアの地位を奪うことはついになかった。その一方で、自宅にカセットテープの再生環

境を持たない学生も増えてきた。

MD とほぼ同時期に、パソコンの高性能化を背景に CD-R/RW の普及も始まった。オーディオ CD のデジタル音声データ (WAV や AIFF 形式) の吸い出し (リッピング) をパソコン上でを行い、CD-R メディアにコピーすることで、音質劣化のないコピーが可能となった。メディアが安価で、コピーした CD-R は一般の CD プレーヤで音声を再生できることから、MD とともにカセットテープのシェア縮小に貢献することとなった。一方で、オーディオ CD 形式での追加書き込みが出来ない点や、何度も消去して使える CD-RW が多くの CD プレーヤで再生できないなど、反復的な記録メディアとしてはカセットテープや MD よりも使い勝手が悪かった。

以上見てきたように、MD や CD-R/RW の普及により、1990年代以降のカセットテープは、教室と自宅学習を仲介しうる普遍的な記録メディアとしての地位を失った。教室環境が LL から CALL に移行する中で、カセットテープほどの普遍性をもつ新たなパッケージメディアは登場せず、もはやパッケージメディア自体が LL/CALL の主役とはなり得なくなった。

ところでカセットテープに代表されるパッケージメディアに代わり、最近めざましく普及しているのが、MP3, WMA, AAC といった非可逆圧縮型デジタルファイルである。これらのファイルは、(1) 比較的小さなデータ量で高音質の再生が可能である、(2) 汎用性が高く、コンピュータと DAP の両方で使用できる、(3) コピーやネットワーク配信を簡便に行える、(4) 画像やテキストなどの付随情報も埋め込み可能であることなどから、デジタルメディアの主流となっている。

このデジタルメディアを再生するための DAP は、ネットワークを利用した音楽配信システムとの連動により商業的成功を収めている。その代表例として、アップルコンピュータが2001年より発売している iPod と、2005年に日本でも開設された iTunes Store が挙げられる。またそうした再生専用プレーヤのみならず、携帯電話でもデジタル音声再生機能を有するものが増加しており、日本におけるモバイルのデジタルメディア再生環境は急速に整いつつある。

そのような中で、ポッドキャストと呼ばれる音声・動画の情報配信が盛んに行われている。これは定期的に更新される音声・動画ファイルを無料でダウンロードし、DAP を用いてラジオ・テレビ番組のように聴取できるシステムである。音声ファイルの作成環境とオンライン配信用サーバさえあれば誰でも情報発信でき、また聴取者側はコンピュータの再生ソフト上で一度購読設定を行えば、定期的に自動ダウンロードされる音声を DAP で手軽に聴くことができる。現在、ポッドキャストの番組は国内外で爆発的に増加を続けており、その中には英語学習に役立つものも多く見られる<sup>1)</sup>。

## 2.2 「プル型」と「プッシュ型」

周知の通り情報発信のメディアは、そのスタイルに応じて「プル型」と「プッシュ型」の2つに大別される<sup>2)</sup>。前者は受け手が送り手から情報を引き出すもので、目的のウェブページや検索エンジンにアクセスして情報の閲覧・ダウンロードを行うのはプル型である。これに対し後者は送り手が受け手に直接情報を発信するもので、例えばテレビ放送は、受け手がテレビのスイッチを入れさえすれば送り手は受け手に情報を直接届けることができるのでプッシュ型メディアである。プル型の場合、情報が受け手に届くためにはユーザ側の積極性が求められるが、プッシュ型においては、最小限のアクションさえ行えばユーザは受動的に情報を得ることができる。

サーバ上に置かれた情報はユーザが自発的にアクセスする必要があるため、基本的にはプル型

といえるが、送り手はネット上でプッシュ型の情報配信を行うための様々な努力を行ってきた。メールマガジンのように定期的に情報が購読者の手元に届けられるものは、ネット上におけるプッシュ型配信の例である。ウェブ上においても、RSS 技術<sup>3)</sup>の普及によりプッシュ型の情報配信が実現し、Internet Explorer 7や Firefox などのブラウザが RSS リーダを搭載したことで、文字によるプッシュ型情報配信を容易に行えるようになった。

このような特徴を持つプッシュ型配信は、英語学習支援にも様々な応用されている。例えばメールを利用して WBT や携帯電話上の学習コンテンツを配信したり<sup>4)</sup>、Moodle などの LMS に RSS リーダを組み合わせて、外部サイトの最新情報を学習コンテンツの一部として埋め込むなどの試みがなされてきた。こうした実践が可能になった背景としては、学習者のコンピュータ操作能力の向上、CALL などのパソコンを用いた学習環境の整備、携帯電話の高い普及率などが挙げられる。

プッシュ型配信を英語学習に応用する最大の利点は、継続的な学習を支援するリマインダーおよびペースメーカーとしての機能をサーバ側に委ねられることである。コンテンツの更新情報がサーバから定期的・自動的に学習者に届けられるため、学習者は更新チェックの手間暇をかけずに、新たなコンテンツの学習に集中できるようになる。

### 2.3 ポッドキャストの特徴

ポッドキャストは、こうしたプッシュ型配信の技術を音声や動画などの配信に応用したものである。ポッドキャストによる情報配信の流れは以下の通りである。

- (1) MP3や MPEG-4などの形式による音声・動画ファイルを作成し、一般公開されている URL を持つサーバにファイルをアップロードする。
- (2) 更新情報などを XML 形式で記述した RSS フィード<sup>5)</sup>を作成し、RSS ファイル (図 1) をサーバにアップロードする。
- (3) RSS フィードの URL を、ポッドキャスト番組のポータルサイト (「Yahoo! ポッドキャスト」「ポッドキャストナビ」「ポッドキャストニングジュース」など) や、iTunes (図 2) などのポータル機能をもつプレーヤに登録する。

受け手側は、RSS リーダと「アグリゲータ」(aggregator) と呼ばれるソフト (図 3) を利用し、上記の要領でサーバ上にアップロードされたコンテンツファイルをパソコンにダウンロードし、iPod などの DAP にコピーする。DAP が一般化する中で、ポッドキャストのコンテンツやアグリゲータの種類も増加したが、当初は iTunes や Windows Media Player などの再生ソフトとは別にアグリゲータを用意し、聞きたい番組の RSS フィードをウェブ上で検索し、その URL を手動で登録する必要があるなど、購読の手続きがやや面倒だった。しかし 2005 年に iTunes がアグリゲータを搭載し、ポッドキャストに正式対応したことにより、購読の登録、更新の確認、更新分ファイルのダウンロード、DAP へのコピーという一連の作業が iTunes に一元化され、そのほとんどが自動化されたことにより、ポッドキャストが手軽に利用できるようになった<sup>6)</sup>。

ポッドキャストの利用は DAP に限らず、パソコンのブラウザ上でも可能である。例えばポータルサイトの中には「Yahoo! ポッドキャスト」のように番組再生用のプラグインを埋め



慮であろうが、裏を返せば、大学生のデジタルファイル再生環境が十分に整備されていないからこそ、過渡期的に iPod 全員配布のような措置が必要だったとも考えられる。

それでは大学生の音声教材再生環境の実態はどのようなものであろうか。中西・植松(2007)は、外国語(英語・中国語)の授業を受講する839名の大学生を対象に行ったアンケート調査を紹介している。これによると、大学生の再生環境が多様化しており、カセットテープ再生機器を持つ大学生は半数に満たない。しかし MD 再生機器については半数近くの者が所有する一方、家庭ではパソコン、外出先では DAP または携帯電話の利用が大きく上回ること、現在携帯電話で音楽を聞いている学生の多くが DAP に関心を寄せていることがわかった。同調査は、カセットテープ・MD から DAP へというメディアの変化と、家庭における音声再生環境としてのパソコンの普及度、および DAP の今後のさらなる普及を裏付けるものであろう。

このような流れの中で、パソコンや DAP を利用したポッドキャストは学生にどれだけ認知され、利用されているのであろうか。そして学生がポッドキャストを英語学習に利用しようとする意欲と、教員がこれを大学英語教育に利用できる可能性はどの程度で、教員の制作したポッドキャストの番組を発信する際に、学生の再生環境のどのような点に留意すべきだろうか。次項では、これらの点を探るために今回実施した「デジタルオーディオプレーヤと語学学習」の調査結果を報告する。

### 3. アンケート調査「デジタルオーディオプレーヤと語学学習」の実施

#### 3.1 調査の方法

アンケート調査(資料)は、広島大学と広島女学院大学で開講されている複数の英語クラスを対象に2007年12月上旬に実施され、計298名の回答を得た。専門分野が英語に直接関連しており、日頃から英語学習に対する意識が高いと思われる者から、英語が苦手などの理由による再履修者まで、対象とした学生の英語力や英語学習に対する姿勢は様々である。

#### 3.2 調査結果

調査は大きく分けて以下の全4項目である。

1. DAP (いわゆる音楽携帯を含む) を所有しているかどうか
2. ポッドキャストの視聴習慣あるいは経験があるか
3. 英語学習用番組を無料ダウンロードできるとしたら聞いてみたい番組
4. 性別

前述のように、ここでは主に学生の再生環境とポッドキャストの利用度・認知度に焦点を当てて調査結果を報告することとする。なお、質問項目4.として性別の回答を求めているが、これは調査の途中で付加したもので、全回答者からデータを取ることができなかったため、ここでは割愛する。

まず、項目1.の結果から見てみよう。

表1 あなたはデジタルオーディオプレーヤや音楽再生機能のついた携帯電話を持っていますか

はい	198
いいえ	100

ここでは従来のカセットテープやMDなどの代替として、デジタルファイルをモバイル環境で利用している実態を探るため、DAPに音楽携帯を含めた利用の有無を聞いた。利用の手軽さの点で差はあるものの、デジタルファイルが再生可能なプレーヤーであればポッドキャストをひとまず利用可能だからである。回答結果(表1)によれば66%の学生がデジタル音声をモバイルで再生できる環境を備えている。さらに具体的な再生環境を尋ねるため、「はい」と回答した学生には、以下のような追加質問を行った。

表2 学生が所有しているプレーヤー

iPod	89
携帯電話	47
ウォークマン	18
その他	44 (SDプレーヤー, Gigabeat, D-Snap 等)

表3 DAP・携帯の利用頻度

ほぼ毎日	92
時々	76
めったに聞かない	27
不明	3

まず、所有しているDAPの名前を具体的に尋ね、項目にない機種は記述させることにした。DAPの機種によって再生・同期用ソフトとポッドキャスト利用の難易度がある程度判別可能だからである。例えばiPodの所有者は再生・同期用ソフトとしてiTunesを用いることになるので、前述したように現時点で最も手軽なポッドキャストの利用手段を有している。また、ウォークマンであればSonicStage、その他のプレーヤーでは多くがWindows Media Playerを利用していると推測される。また、パケット通信によって音楽を直接ダウンロードできる携帯電話を除くと、ほぼすべてがパソコンとデータを同期するタイプのDAPであり、上述の各種再生ソフトを利用して、MP3やAACなどのデジタルオーディオファイルのダウンロードや再生、CDのリッピングを行っていることもわかるだろう。あわせて、このような作業を日常的にどれだけ行っているか尋ねることとした。この結果によれば、表1で「はい」と回答した者の45%、すなわち全回答者の30%が、何らかのiPodを所有しており、携帯電話を除くDAPの所有者を合算すると、全回答者の51%がパソコンとデータを同期するタイプのDAPを所有している(表2)。また、表3では「ほぼ毎日」と「時々」を合わせると、DAP所有者の85%が、音楽等を楽しむために日常的に利用していることがわかる。

次に項目2.の結果を見ることにする。

表4 あなたはネットで無料配信されている「ポッドキャスト」の番組を聞いていますか

はい	31
いいえ	267

ここではポッドキャスト利用の実態を探ることとした。番組利用の有無をDAP所有者に限定していないのは、DAPを主有していなくてもパソコンがあればダウンロードして利用することが可能だからである。このためポッドキャストの説明としては「ネットで無料配信されている」のみにとどめた。この結果、「はい」と回答した学生は約10%であった(表4)。

ここで「はい」と答えた者を対象に、番組の視聴形態と英語学習用番組の有無を尋ねた。

表5 主に何を使って聞いていますか

デジタルオーディオプレーヤ・携帯電話	8
パソコン	23

表6 あなたが購読している番組には、英語学習用の内容が含まれていますか

はい	15
いいえ	16

表5を見ると、DAPあるいは携帯電話といったモバイル環境で音声ファイルを持ち出して聞いている学生はポッドキャスト全利用者の26%（全回答者の3%）で、残りの74%（全回答者の8%）は自宅や学内などのパソコンで聞いている。次に表6は、本調査の中で最も核心にあたる質問である。ポッドキャストを英語学習に利用している学生は、ポッドキャスト利用者の48%（全回答者の5%）という結果だった。ここで「はい」と回答した15名には、好んで視聴している番組を自由記述してもらおう（表7）とともに、視聴頻度を回答（表8）してもらった。

表7 お気に入りの英語学習番組

回答数2	NHK ニュース
回答数1	Brain Food 英単語編 英語のヒント 英語と仲直りできる Podcast BBC News BBC English Studio Classroom Nikkei Weekly Interview E-chat World Football ALC

表8 英語学習番組の利用頻度

ほぼ毎日	3
時々	9
めったに聞かない	2
不明	1

これらの情報から、利用者が求めている番組の内容や難易度、それにポッドキャストを利用した英語学習にたいする姿勢といった情報が引き出せるだろう。表8によると、ポッドキャストを利用した英語学習者15名のうち、最も多い回答は「時々」が60%（全回答者の3%）で、「ほぼ毎日」と合わせると80%（全回答者の4%）という結果だった。

一方、ポッドキャストを聞いたことがないと回答した学生267名に対しては、利用しない理由を尋ねた（表9）。

表9 ポッドキャストを利用しない理由（複数回答可）

興味がない	54
「ポッドキャスト」が何なのかわからない	181
購読の仕方がわからない	55
購読が面倒	6
購読してみたが聞かなくなった	6
聞くための装置を持っていない	26

ここではポッドキャストを利用しない原因を、コンテンツに対する興味の不足（「興味がない」「購読してみたが聞かなくなった」）、認知度不足（「『ポッドキャスト』が何なのかわからない」「購読の仕方がわからない」）、技術的問題（「購読が面倒」）、視聴環境の未整備（「聞くための装置を持っていない」）の4つに大別した。表9のように、最も多い回答は「『ポッドキャスト』が何なのかわからない」で、以下「購読の仕方がわからない」「興味がない」「聞くための装置を持っていない」「購読が面倒」「購読してみたが聞かなくなった」と続いている。上述の4つの原因で最も多い順にまとめ直すと、認知度不足（236）、コンテンツに対する興味の不足（60）、視聴環境の未整備（26）、技術的問題（6）となる。

最後に項目3. の調査結果を報告する。

表10 もし英語学習用番組を無料でダウンロードできるとしたら、  
どのような番組を聞いてみたいですか（複数回答可）

キャンパス情報	15	その他（自由記述） ・ The Golden Eggs ・ NHK 英語でしゃべらナイト ・ アニメ ・ 日本語混じりの英語 ・ とっさの一言、よく使うけど英語でなんて言うかわかんないような表現のコーナー ・ 英語での漫才、コント ・ 映画 ・ 海外ニュース（簡単なもの） ・ 誰もが知っているような有名な話。ハリーポッターとか、アリスとか ・ バラエティ
会話	97	
ドキュメンタリー	44	
ドラマ	168	
フリートーク	52	
リスニングクイズ	60	
地元の情報	30	
発音練習	51	
短い物語の朗読	78	
TOEIC 演習	126	

項目3. では全回答者を対象に、今後の番組制作の参考とするため、無料ダウンロードが可能だとしたら聞いてみたいと思うジャンルを回答してもらった（表10）。多いものから5つ挙げると、「ドラマ」「TOEIC 演習」「会話」「短い物語の朗読」「リスニングクイズ」となる。また、自由記述では、学生の興味に応じて様々な回答が得られた。

### 3.3 考察

ここでは3.2で行った、学生のポッドキャスト利用実態などの調査結果をもとに考察していく。

まず、iPodを始めとするDAP所有率の高さが挙げられる。全回答者の3割がiPodユーザーで、ポッドキャストに最適化された環境を既に有しており、7割近い学生がポッドキャストをモバイル環境で利用可能な環境を持っている。中西・植松（2007）の調査でも、現在携帯電話で音楽を聞いている学生の多くがDAPに関心を寄せていることも考え合わせると、総じて学生のデジタルファイルへの抵抗感は薄いと考えられ、ポッドキャストの教育利用を阻む技術的な障害はほとんどないと考えられる。

しかし、このようなデジタルオーディオ普及の流れにもかかわらず、語学学習での活用を問う以前の問題として、学生間でのポッドキャストの認知度は非常に低い。この原因としては、

(1) 番組の種類豊富さは裏腹に、学生の間で認知の起爆剤となるようなキラーコンテンツがない、(2) 情報不足のため、ポッドキャストを使ってできることがイメージできない、(3) 名称による誤解 (iPod がなければ利用できないという思い込みによる無関心) などが考えられる。

さらにポッドキャスト利用者自体が少ない中で、その利用形態としてはDAPよりもパソコンの方が圧倒的に多かった。パソコンの方がダウンロードしたコンテンツをすぐに聞くのに便利であり、わざわざコンテンツをモバイル用に持ち出す必要を感じていない学生が多いようである。DAPの利用は、通学時間の長さなど学生各人の生活スタイルと大いに関わっているため、ポッドキャストの視聴形態も、DAP、自宅のパソコン、大学のパソコン等といったように多様化して当然だろう。

一方で、ポッドキャストの認知度の低さにもかかわらず、ネット上で提供されるコンテンツへの関心と潜在的ニーズは決して小さくない。項目3.の回答の中には、すでに購読可能な番組が存在しているジャンルもあり、情報不足のために学生がその存在を知らないことを裏付けている。また、ポッドキャストに「興味がない」と回答した学生についても、ニーズの掘り起こしによって興味を喚起することが可能と思われる。

#### 4. 課題

以上挙げたような学生の実態を踏まえ、ポッドキャストを大学英語教育に活用するための今後の課題を挙げてみる。

第一に、学生のレベルとニーズに合ったコンテンツを開発する必要がある。

第二に、ポッドキャストのコンテンツを提供する際には、多様な視聴形態に対応させる必要がある。具体的には、RSSフィードをLMSやブログなどと連携させる(図5)ことで、DAPだけでなくパソコン上でも更新情報の確認とコンテンツの視聴ができるようにしておくのが最も現実的であると思われる。

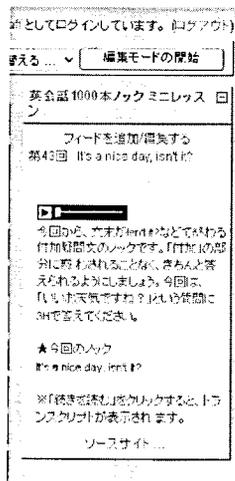


図5 Moodle 1.9にポッドキャストのRSSフィードを埋め込んだ例

第三に、ポッドキャストイングの利用を教員からいかに働きかけるかを考える必要がある。ポッドキャストイングを利用した英語の学習方法を紹介したり、ポッドキャストイングを教材として利用し、番組の視聴を授業活動に取り入れるなどの働きかけが考えられるだろう。

さらには、以上のようなポッドキャストイングの活用を通じて、プッシュ型配信の利点である継続的学習がどの程度促進されるのかを探っていきたい。

## 5. 結 論

ポッドキャストイングの番組が増加する一方で、大学生の間での認知度は今ひとつであり、その教育利用はまだまだ発展途上の段階にあるように思われる。アナログからデジタルへ、パッケージメディアからデジタルファイルへという目まぐるしい変遷の中で、ポッドキャストイング自体もまた一過的なメディアに終わるのかも知れない。それでも、プッシュ型配信のもたらす学習支援機能と、ニーズに合わせたコンテンツの選択、時間や場所を問わないコンテンツの活用などの利点を活かし、ポッドキャストイングのコンテンツ開発と教育利用の可能性を探ることは、現時点においてはきわめて有益なことであろう。

付記 本研究は、科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19520491による研究成果の一部である。

## 注

- 1) 2008年1月18日現在「Yahoo!ポッドキャスト」では、「英語」カテゴリに123件の番組が登録されていた。また iTunes Store で「英語」で検索すると、159件のポッドキャスト番組がヒットした。これらの多くは日本人英語学習者向けの内容であり、さらに海外の ESL 関係やニュース・ドキュメンタリー等の番組も加えると、学習者のレベルや興味に応じて無数の番組が利用できることがわかる。これらのすでに提供されている番組については、Lauer (2008) が詳細に評価を行っている。
- 2) 「プル型」「プッシュ型」という術語は1990年代に一度流行したが、近年のブロードバンド環境の普及により再び注目を浴びるようになった。
- 3) RSS とはウェブ上にある最新情報の見出しや要約を配信するためのメタデータを指し、そのフォーマットは XML をベースとしている。ただし RSS には策定者の異なる複数のバージョンが存在するため、それぞれの正式名称も RDF Site Summary (RSS 0.9および1.0)、Rich Site Summary (RSS 0.91)、Really Simple Syndication (RSS 2.0) と異なっている。現在多く使用されているのは RSS 1.0と RSS 2.0である。
- 4) 例えば入江 (2007) など。
- 5) ポッドキャストイングに用いられるのは RSS 2.0フォーマット。
- 6) なお、携帯電話でもポッドキャストイングが試みられており、ポータルサイトも存在している (例: Caspee<<http://caspee.jp/>>) が、高額なパケット通信料が発生するため、パケット通信を用いた継続的な購読は現実的ではない。しかし第3世代携帯電話にはほとんどに音楽再生機能がついており、その高い普及率を考えると、今後パケット定額制が普及し、パソコンとの同期がより手軽に行えるなど、ポッドキャストイングを利用するための環境が整えば、潜在的な利用価値は高いだろう。
- 7) 同様の実践は2005年度の名古屋商科大学などでも見られる。

## 参考文献

- Harrington, J. (2005). *Podcasting Hacks: Tips and Tools for Blogging Out Loud*. Sebastopol, CA: O'Reilly Media, Inc.
- Lauer, J. (2008). High-Quality Podcasts for Learning English. 『広島外国語教育研究』 11, 95-106.
- ユニゾン (2006). 『超図解 Web2.0がわかる！ 100のキーワード』 エクスメディア.
- 入江公啓 (2007). 「携帯電話用復習教材の提供：ユビキタスな装置とプッシュ型ソフトの活用」『外国語教育メディア学会 (LET) 第47回 (2007年度) 全国研究大会 発表論文集』, 194-195.
- 中西正樹, 植松茂男 (2007). 「大学生の音声教材再生環境について—2007年アンケート調査から見る現状と展望—」『外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部秋季研究大会 発表要項』, 11.

(資料)

## アンケート：デジタルオーディオプレーヤと語学学習

このアンケートは、ポッドキャストを利用した英語学習用番組制作の参考とするものです。本アンケートの調査結果は、本研究のためだけに使用され、それ以外の目的で使用されることはありません。

広島大学外国語教育研究センター 榎田一路 ジョー・ラウアー

1. あなたはデジタルオーディオプレーヤ（例：iPod）や音楽再生機能のついた携帯電話（例：ケータイウォークマン）を持っていますか。該当するものにチェックをしてください。

はい いいえ

→ 「はい」と答えた人 以下の質問にお答えください。

- (1) あなたが持っているプレーヤの名前をお書きください。( )
- (2) そのプレーヤであなたはどのぐらい音声や音楽を聞いていますか。
- ほぼ毎日 時々 めったに聞かない

2. あなたはネットで無料配信されている「ポッドキャスト」の番組を聞いていますか。

はい いいえ

→ 「はい」と答えた人 以下の質問にお答えください。

- (1) 次のうち、主に何を使って聞いていますか。
- デジタルオーディオプレーヤ・携帯電話 パソコン
- (2) あなたが購読している番組には、英語学習用の内容が含まれていますか。
- はい いいえ
- 「はい」と答えた人 以下の（ア）～（イ）の質問にお答えください。
- （ア）お気に入りの番組名をお書きください。
- ( )
- （イ）その番組をどのぐらい聞いていますか。
- ほぼ毎日 時々 めったに聞かない

→ 「いいえ」と答えた人 その理由をお答えください。（複数回答可）

- 興味がない 「ポッドキャスト」が何なのかわからない
- 購読の仕方がわからない 購読が面倒
- 購読してみたが聞かなくなった 聞くための装置を持っていない

3. もし英語学習用番組を無料でダウンロードできるとしたら、どのような番組を聞いてみたいですか。（複数回答可）

- キャンパス情報 会話 ドキュメンタリー ドラマ フリートーク
- リスニングクイズ 地元の情報 発音練習 短い物語の朗読 TOEIC 演習
- その他 ( )

4. あなたの性別 男 女

ありがとうございました。

## ABSTRACT

### Preliminary Research on Learning English with Podcasts

Kazumichi ENOKIDA

Institute for Foreign Language Research and Education

Hiroshima University

This paper discusses podcasting and its potential for learning English. A survey involving 298 students at Hiroshima University and Hiroshima Jogakuin University was conducted, and the popularity of digital audio players (DAPs) was analyzed.

First, we take a brief look at the history of audio media and English learning. Compact cassette tapes had long been used to record and play audio materials to learn English in classrooms and at home until the late 1990s, when the spread of Mini Discs (MDs) and CD-R/RWs gradually made it difficult to use compact cassette tapes in LL/CALL classes. Now, such package media are being replaced by more versatile and flexible digital files, such as MP3 and AAC, which can be played on PCs and DAPs. In fact, digital media and DAPs are gaining popularity among university students, as seen in Nakanishi and Uematsu (2007). The digital files and the RSS technology have enabled podcasting programs to be automatically delivered in the “push”-style, which is useful in language learning in that it helps subscribers concentrate on learning by leaving the daily updates to the servers.

Next, the results of the survey “Digital Audio Players and English Learning” are reported. They show that 66% of the students have either a DAP or a music-enabled mobile phone. Among those students, 30% own an iPod. These facts mean that the majority of the students are ready to use Podcasting in language learning. Despite the popularity of DAPs, however, only 10% of the students have listened to podcasting programs; furthermore, 74% of the podcasting users listen to the programs on their PCs rather than on DAPs. As for the non-user group, which accounts for 90% of the whole, very few of them know what podcasting is like. On the other hand, the students generally show a high interest in learning materials downloadable on the Internet.

The survey results will give some future tasks to those who want to use podcasting for English education: (1) to develop materials for podcasting which meet the students’ needs; (2) to provide an easy access to developed materials on PCs as well as on DAPs; (3) to encourage students to learn English through podcasting; (4) to see if and how the “push”-style delivery of podcasting will help students continue language learning.